

會ナドデ決定シ現ハスベキモノデアルガ、行動綱領ハコレヲノ政策要求ノ根本トナリ、骨子トモナル半恒久的ナ行動原則デアル。形式ニツイテハ、適當ナ順序ニ於イテ項目ヲアゲ、コレニ解説ヲ付スルコトニシタイ。原案作成ノ方法ハ、小委員ガ夫々アル程度ノ肉ヲツケタ私案ヲ十月上旬ニ東京ニ持チ寄ツテ會議ヲ開キ（出席デキヌモノハ文案ヲ送ル）コレヲ審議シテ原々案ヲマトメル。各小委員ハ手ヲワケテ、コノ原々案ヲ地方ヘ持チコミ、説明シ、意見ヲキ、大衆的討議ニ移シタ後、更ニ集ツテ會議ヲ開キ原案ヲツクル。コノ原案ガ來年度全國大會ニ提出サレルノデアル。

一、養蠶對策ニ關スル決議發表

小委員會

決議

繭價慘落ニ對スル政府ノ諸對策ハ悉ク農村ノ實情ヲ無視セルモノニシテ殆ンド全ク效ヲ奏スルトコロナシ、養蠶農民ハ、現金ハモトヨリ飯米ニスラ窮シテ今ヤ餓死センバカリデアル。養蠶應急施

設トシテ即時左記ヲ實施センコトヲ要求ス。

- 一、政府所有米ノ長期年賦ニヨル貸下ヲナスコト（マユ價ガ生産費ニ一致スルヨウニナツテカラ五ケ年々賦）
 - 一、桑園小作料全免
 - 一、債務取立ヲ休止セシメルコト
 - 一、生マユ糞押ヲ禁止スルコト、
- 九月六日

全農 中央委員會

小委員會

決議

一、土地取上ニ對スル決議發表

最近ニ於ケル小作爭議ノ情勢ニツイテ、官廳報告ニヨツテ見ルモ土地取上件數ハ愈々異常ナル激増ヲ來シ、其ノ手段方法トシテハ直接暴力ト懸賞ノ立入禁止、明渡執行トガ大部分ヲ占メテキル。斯ル土地取上ノ傾向ハ、農村事情ヲ無視シテ簡單ニ立入禁止、